

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより



6月定例会

上野原中部地区防災支援センター



特集

うえのはらで頑張る人
オレンジカフェ

特集	うえのはらで頑張る人	2
	定例会で決まった主なこと	4
	議決結果等一覧表	6
	会期中の審査	7
	予算特別委員会	8
	一般質問	9
	閉会中の委員会活動	14
	市民の声	16

とんびの会



はる Café



まちなかの会



ほんさん

荻野フローレンス



うえのはらで頑張る人 Vol.35 オレンジカフェ



オレンジカフェは、物忘れのある人やその家族、地域住民、専門職の人など、誰もが気軽に集い、交流し情報交換などができる場所です。市内で開催している5会場へ伺い、お話を聞きました。

地域の誰もが集える交流の場
お気軽にご参加ください！

カフェ開設に至る経緯は

長寿介護課の説明を受けて、ボランティア活動と並行して行い、いきいきサロンを拡大する機会になるのではとの思いから、令和5年に開設。（とんびの会）

家族の介護をしている人の憩いの場として、また、認知症予防のため、令和6年に6人のスタッフで開設。（荻野フローレンス）

最初は一人暮らしの高齢者宅をお借りして令和3年に開設。現在は公的施設で月2回開催しています。（まちなかの会）

「地域交流・地域貢献、地域に開かれた施設」をモットーに、平成29年に開設。（はるCafé）

地区の老人会といきいきサロンと共同で、平成30年にオレンジカフェを開設。（ほんさん）



市内のオレンジカフェ

団体名	活動場所	活動日時
はる Café	にんじんホーム・上野原	第2日曜日 10:00～12:00
まちなかの会	中部地区 防災支援センター	第1水曜日 第3土曜日 13:30～15:30
とんびの会	コモアしおつ 3丁目集会所	第3月曜日 13:30～15:30
ほんさん	中部地区 防災支援センター	第2木曜日 13:00～15:00
荻野フローレンズ	荻野集会所	第2水曜日 14:30～16:00

カフェではどのように
過ごしていますか

■ 毎回テーマを決めて、体操、脳トレなどを行い、歌（大正く昭和に流行）を楽しむ時間は、笑い、時には涙ぐんだりして大きな声で歌っています。

■ 映画を見たり、時には講師を招き椅子ヨガ



をしたたり、防災の話や認知症予防の話などを聞いたります。特に、認知症の発症リスクを減らす4つのポイントの話は、皆さん真剣に受講していました。

■ お茶を飲みながら、おしゃべりタイムなど。

今後、運営を継続していく うえで課題は

■ 運営者の高齢化によりスタッフの確保はどちらのカフェも大きな課題です。次の世代へどのように繋げられるのか苦慮しています。

■ 本場に参加してほしい人に加してもらえ
るのか、声掛けやポスティングなど工夫しているが、難しい部分があります。



行政や議会に望むこと

■ 参加したくても、地域によっては会場まで歩いていけない方が多くいます。車での移動をもっと簡単にできるシステムを考えてほしい。

■ 現在、自力で歩いて参加していますが、今後、自力で来れなくなった場合、どうしたらよいか課題として残っています。

■ 会場を使用するのに、申請、鍵の借用、返却等、もう少し簡単にできないでしょうか。

■ 現在、月一回の開催ですが、いつでも気軽にしゃべりやお茶のみができる場所が欲しいです。

取材を終えて

上野原市の高齢者は、約40・5%を占めています。その中、市内の各地域において高齢者による地域コミュニティが構築され、活発に活動をされています。今回取材させていただいた「オレンジカフェ」は、認知症の方やその家族の方たちが参加し、人と人とのつながりを作り、楽しんでいました。運営上の課題については、今後、議会として課題解決に尽力していきたいと思っています。

6月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和7年第2回定例会が6月5日から20日まで16日間の日程で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	17件
請願	3件
発議	3件
計	23件

※議案名・議決結果等は6ページをご覧ください。

条例 改正

地方税法等の一部を改正

議案第51号
専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例の一部を改正する条例制定について）

■ 軽自動車税の車種別税率の車両区分の改正
二輪で総排気量125ccで最高出力4・0kw以下のものを追加
■ 年額2000円
電子機器を用いた公示送達など所要の改正
公示送達を市役所のパソコンの画面表示で可能にすることができるようにした。

施行日 令和7年4月1日

契約 締結

消防ポンプ自動車購入契約締結 消防自動車4台の購入契約締結

議案第62号 消防署消防ポンプ自動車1台購入契約締結について
議案第63号 消防団用軽積載車4台購入契約締結について

条件付き一般競争入札により、（有）中村ポンプ工作所（甲府市）と購入契約を締結しました。

消防署消防ポンプ自動車（1台）	契約金額	542万6千300円
消防団用軽積載車（4台）	契約金額	386万7千600円

人事 案件

教育長・教育委員の任命の同意

議案第65号・第66号 上野原市教育委員会委員の任命の同意について
議案第67号 上野原市教育委員会教育長の任命の同意について

任期満了に伴い、その後任を任命するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、議会として同意しました。

教育長	小澤 勇人氏
教育委員	渡部 一雄氏
	小俣 康信氏

議案第64号

人事件

上野原市固定資産評価員の選任の同意について

固定資産評価員の選任の同意

令和7年6月30日をもって評価員桑名定則氏が退任するので、その後任を選任するにあたり、地方税法第404条第2項の規定により、議会の同意を得る必要があります。

固定資産評価員
渡邊恭一郎氏

請願第1号

請願

「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書

えん罪被害者の救済のため再審法の改正を

えん罪被害者を一刻も早く救済するために、再審法を速やかに改正する必要があるため、国に意見書を提出することを求めます。

請願第2号

請願

「当面、消費税一律5%への減税を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書

消費税の当面5%への減税を

住民の暮らし、地域経済の深刻な現状から、消費税を当面一律5%に引下げを求める必要があるため、国に意見書を提出することを求めます。

請願第3号

請願

訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書

介護報酬の引き上げを求める

このままでは訪問介護事業の存続が危ぶまれ、要介護になっても在宅で安心して暮らし続けることも困難となることから、訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うよう、国に意見書を提出することを求めます。

発議第2号
発議第3号
発議第4号

発議

再審法改正を求める意見書の提出について
当面、消費税一律5%への減税を求める意見書の提出について
訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書の提出について

請願に基づき国に意見書を提出

請願第1号から第3号の採択に伴い、それぞれの意見書を国に提出しました。

選挙第4号

選挙

小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について

指名推選により当選

長田 義廣氏
長田 森久氏
橋本 正博氏
降矢 太治氏

令和 7 年第 2 回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案 番号	付託 委員会	案 件 名	天 野 淳 一	佐 藤 澄 男	清 水 一 明	安 留 俊 介	小 俣 崇	内 田 倫 弘	八 木 一 雄	山 口 薫	白 鳥 純 雄	遠 藤 美 智 子	川 田 好 博	東 山 洋 昭	杉 本 公 文	長 田 喜 巳 夫	審議 結果	
請願 2	総務 産業	「当面、消費税一律 5%への減税を求める意見書」を 政府に送付することを求める請願書	○	●	●	○	○	●	議長	●	○	●	◎ ○	◎ ●	○	○	○	採択

※ 請願第 2 号の委員長報告は不採択とすべきものです。討論は委員長報告に対する賛成・反対です。賛否は原案に対するものです。

◆全会一致の議案

議案 番号	付託 委員会	案 件 名	審議 結果
51	—	専決処分の承認を求めることについて（上野原市税条例の一部を改正する条例制定について）	承認
52		専決処分の承認を求めることについて（上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）	
53		専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度上野原市一般会計補正予算（第 9 号））	
54		専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号））	
55		専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号））	
56		専決処分の承認を求めることについて（令和 6 年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第 4 号））	
57	文教 厚生	上野原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び上野原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決
58	予算 特別	令和 7 年度上野原市一般会計補正予算（第 1 号）	
59		令和 7 年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）	
60	—	令和 6 年度上野原市一般会計等繰越明許費繰越計算書の報告について	受理
61		令和 6 年度上野原市簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
62	総務 産業	消防署消防ポンプ自動車 1 台購入契約締結について	可決
63		消防団用軽積載車 4 台購入契約締結について	
64	—	上野原市固定資産評価員の選任の同意について	同意
65		上野原市教育委員会委員の任命の同意について	
66		上野原市教育委員会委員の任命の同意について	
67		上野原市教育委員会教育長の任命の同意について	
請願 1	総務 産業	「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書	採択
請願 3	文教 厚生	訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願書	
発議 2	—	再審法改正を求める意見書の提出について	可決
発議 3		当面、消費税一律 5 %への減税を求める意見書の提出について	
発議 4		訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求める意見書の提出について	
選挙 4		小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙について	当選

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

会期中の審査

総務産業常任委員会

委員長 山口 薫
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤澄男
八木一雄
東山洋昭
杉本公文
長田喜巳夫

6月11日、委員会を開催し、付託された条例制定2件、請願2件について審査しました。

議案第62号「消防署消防ポンプ自動車1台購入契約締結について」及び議案第63号「消防団用軽積載車4台購入契約締結について」は、条件付一般競争入札により何れも有限会社中村ポンプ工作所との購入の仮契約を結んだとの説明がありました。

委員から消防団用軽積載車4台の配置先と現在の車両処分についての質問については、大目分団に2台、甲東分団に1台及び上野原分団に1台配置し、処分方法は基本オークションになるが、必要な分団があれば検討することです。

請願第1号「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書については、国の関係機関に、えん罪被害者を一刻も早く救済

するために再審法を速やかに改正すべきであると強く求めるものです。

以上、条例2件及び請願1案件については、全会一致で可決及び採択すべきものと決定しました。

請願第2号「当面、消費税一律5%への減税を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書については、異議があったため起立採決を行った結果、可否同数となり、委員長の判断により不採択とすべきものと決定しました。



消防団用軽積載車

文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一
副委員長 安留俊介
委員 清水一明
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子
川田好博

6月11日に委員会を開催し、条例制定1件、請願1件を審査しました。

議案第57号は、内閣府令の施行に伴い連携施設に関する経過措置の延長や保育内容支援または代替保育に係る連携施設の確保が著しく困難であると認めるときは、連携施設の確保をしないことができる規定の追加をするものです。委員からの家庭的保育等の要望があるのかとの質問については、市内では現在、新たに家庭的保育等を運営する必要性はないと考えているが、0、1、2歳児の保育需要が高まっているため、市としては、既存の私立幼稚園等を支援しながら、これらの年齢層の受け入れ体制を整える必要があるとの説明がありました。

以上、当局提出1案件については全会一致で可決すべきもの

と決定しました。

請願第3号は、2024年4月に介護報酬の改定で引き下げられた訪問介護の基本報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再改定を早急に行うことを国に求めるものです。請願については全会一致で採択すべきものと決定しました。

また、委員から、少子化について調査すべきとの意見があり、閉会中の視察調査とすることに決定しました。



こども園の園庭

議案第58号 令和7年度上野原市一般会計補正予算(第1号)
議案第59号 令和7年度上野原市簡易水道事業会計補正予算(第1号)

補正
予算

補正総額

一般会計

10億4673万8千円

簡易水道事業会計

984万7千円

今回の補正予算は、3月の当初予算に肉付けをした本格予算を計上したものです。6月9日に開かれた予算特別委員会において、補正予算の審議が行われました。



デマンドタクシー



ふるさと長寿館

一般会計の主な事業

■ 総務費

デマンドタクシー土曜日運行の追加負担金 855万3千円

秋山地区複合施設整備基本計画策定支援業務 1267万4千円

■ 民生費

結婚生活応援事業 120万円

認定こども園の外周フェンス改修工事 466万4千円

■ 衛生費

クリーンセンター内各施設の修繕費 1億5182万3千円

■ 農林水産費

ふるさと長寿館・羽置の里びりゅう館LED化事業 1253万4千円

■ 消防費

ドローン購入費 118万円

簡易水道事業会計の増額補正

■ 収益的収入および支出

605万2千円

■ 資本的支出

379万5千円

各議員の主な質問項目

【内田 倫弘 議員】

- 1 上野原市の教育費について

【長田喜巳夫 議員】

- 1 工業団地への就業者の状況等について
- 2 簡易水道組合について
- その他

【遠藤美智子 議員】

- 1 「高齢者が健やかで生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」の構築について
- 2 奨学金返済支援事業の導入について

【小俣 崇 議員】

- 1 二地域居住等促進事業について
- 2 「家族代わり」を担うサービスの在り方について

【山口 薫 議員】

- 1 自治会(区や組等)の課題と対策について
- 2 脱炭素及びSDGsの推進について
- その他

【東山 洋昭 議員】

- 1 書かない窓口等について
- 2 戸籍のフリガナ導入について
- その他

【安留 俊介 議員】

- 1 少子化社会における小中学校について

【川田 好博 議員】

- 1 高物価対策
- 2 交通安全対策
- その他

【杉本 公文 議員】

- 1 桃太郎伝説による市の活性化策について
- 2 防災対策について

上野原市の教育費について

質問

隠れ教育費とは。

答弁

制服等の入学準備費、筆記用具等の消耗品、副教材、課外活動費、PTA会費、給食費等、子どもたちの教育に関連する費用ではあるけれども教育費として認識しにくい費用のことです。

質問

全国でも隠れ教育費対策が注目され、教育費の負担軽減に取り組む自治体が増えています。しかし、財源が必要で、当市は、小中学校の給食費を無償にしています。国が来年度より給食費無償化を進めれば財源の確保はできます。市内小中学校給食費の予算は。

質問

が、国の給食費無償化で浮くこととなる予算は、各種事業の優先度を考慮し配分されると考えます。しかし、物価高騰の中、保護者負担が増加していることも事実です。議員ご指摘の隠れ教育費の補助制度を学校教育課としても検討しています。

答弁

市長の考えは。

教育長の答弁同様、隠れ教育費に関する補助制度、例えば、入学時に必要な物品購入に対する補助などを検討したいと考えています。有効な予算や資源の使い方、議員の皆様にも一緒に悩んで欲しいと思います。

質問

代替事業の考えは。

答弁

国の給食費無償化の詳細がまだ明らかではありません。



内田倫弘

人口減少の課題について

質問 シティプロモーションの期待できる効果は何か。

答弁 地域の認知度向上、移住者の増加、転出抑制、地域経済の活性化、市民の地域に対する愛着醸成、関係人口の増加、地域資源の活用などの効果があげられます。

意見

す。結果、観光客誘致による経済効果、新たなビジネスも生まれる可能性があります。さらにまちづくりに関心を持つことで、より良い行政サービスの提供に繋がることも期待されます。

シビックプライドは地域に自ら関わることであり、シティプロモーションは、当市の魅力や長所を市内外に売り込む活動であるため、共に繋がっている。このため行政側の仕掛けも重要であり、積極的な取り組みを展開すべきである。

他に工業団地への就業者の状況及び簡易水道組合について質問しました。



長田喜巳夫

高齢者が健やかで生きがいを持ち 安心して暮らせるまち

質問 今年は団塊の世代が後期高齢者となる。本市の高齢化率は、40・05%、今後も高齢者支援の拡充が益々必要となる。本市の高齢者の保健事業と介護予防の一体的な事業について問う。

答弁 市民課では「事業の企画調整等を実施」、子育て保健課では「健診や医療機関への受診勧奨や病気の重症化予防等を実施」、長寿介護課では「社会参加とフレイル予防に必要な対策等を実施」以上の3課が連携し一体的に事業を推進します。

質問 秋山地区のボランティア活動でスタートした移動サービスですが、今後は中心市街地でも展開する予定は。

答弁 生活環境課として、ボランティア団体からの要望があれば、道路運送法に基づきボランティア運送についての認識確認などを行う支援を考えています。

質問 認知症の方が穏やかな人生を送るためフランスで考案したユマニチュードというケア技法がある。実証実験した自治体では、導入後、介護者負担の軽減や、当事者の暴言や徘徊などの症状が軽減した等報告されている。このケア技法の普及について考えを問う。

答弁

認知症の方が穏やかな人生を送るためフランスで考案したユマニチュードというケア技法がある。実証実験した自治体では、導入後、介護者負担の軽減や、当事者の暴言や徘徊などの症状が軽減した等報告されている。このケア技法の普及について考えを問う。

他に、奨学金返済支援事業の導入について質問しました。



遠藤美智子

二地域居住等促進事業の推進と 家族代わりを担うサービス



小俣 崇

持続可能な上野原のために 将来を見据えた対策を



山口 薫

質問

山梨県と上野原市は、二地域居住等推進事業で共に歩みを進めています。事業の推進に当たり、連携や補助金など山梨県の協力体制について伺う。

答弁

組みについて見解を伺う。支える側、支えられる側という関係を超えて、自治会やボランティア、社会福祉法人など多様な団体と連携し、人と人、人と社会が繋がること、そして居場所があり孤立しないことが重要であると考えます。

答弁

令和5年7月に山梨人口減少危機突破共同宣言が発せられました。この様な中、二地域居住の推進については、山梨県とも連携・協力して取り組んで行く必要性を強く感じております。

質問

判断力が不十分な高齢者との契約となる高齢者終身サポート事業は、消費者保護の観点から家族代わりはどうあるべきか伺う。

答弁

自らの意思決定や生活の維持に不安を抱える方々に対し、本人の意向を尊重した支援計画の策定や成年後見制度の利用を支援します。

答弁

当市の強み・魅力の一つは、都心に近いところです。この強みと魅力を生かした二地域居住の推進が重要であると考えます。

質問

家族介護の限界から、介護保険制度が導入されました。高齢者に対し、生前から社会全体で支えていく仕



質問

全国的に区役員の担い手不足、高齢化、区加入率の低下が進んでいます。当市も文書配布、回覧、集金等区役員の負担軽減が必要であると思うが。

答弁

なく開催出来ると思うが。屋根があれば、各イベントの開催や災害対策上も利便性の向上が確保できます。財源の検証や分析等を行い実現に向け検討します。

答弁

区役員の負担軽減は必要です。現在、DX化による市HPの活用、回覧板内容の配信等区業務負担軽減に向け更に検討します。

質問

当市が決断実行した再生可能エネルギー100%電力供給は、県内各自治体へ波及し高い評価を得ています。他の市施設の状況は。

質問

今後、当市でも一人暮らし高齢者世帯の増加が見込まれ、災害発生時初期では個別避難や避難行動要支援等、どうしても隣組の助け合いが必要となるが。

答弁

他施設も順次再生エネルギーを導入を進めています。ジオパークは、市の交流人口増や経済的効果も期待でき、市民に自信と希望を与え持続可能な上野原市の礎になります。認定へ向けた更なる推進を期待します。

答弁

災害時には共助が必要不可欠です。防災の分担等は、区において協議して頂く必要があると考えています。

質問

市役所中庭に屋根を設置すれば、太陽光パネル設置、大災害時の防災活動拠点、大きな講演会・音楽会、スポーツの試合も天気に関係



市役所
センタープラザ

「書かない窓口」について

質問

どのようなものか、市民サービスにどう役立っているか。

答弁

デジタル庁により推進されている取り組みで、マイナポータルや自治体独自の電子申請システムを利用し、申請者が書類に記入することなく、マイナンバーカードを使い、手続きが簡単に行えるものです。自ら記入することがないため、記入誤りや時間的負担の軽減に繋がっています。

質問
課題は。

マイナピットという機械が窓口があり、マイナンバーカードを読み取り、氏名、生年月日、性別、住所の4情報を申請書に自動記載して「書かない窓口」化を目指していますが、導入から10か月を経ても、周知不足が否めません。広報誌やホームページ等も利用し、なお一層周知に努めていき

提案

ます。また、色彩を用いた誘導標識やサインを経路上に設置して、日々の業務の中で利用者の声を大切に、行政手続きのバリアフリーと利便性向上を目指していきます。

この3月31日現在、マイナンバーカードの交付件数は、1万9895件、人口比91・9%もあります。現状の当市の状況では、利用ガイドの説明員などを窓口に配置して、操作方法の周知を行うべきと考えます。それが本当の事務の効率化と職員の負担軽減につながるものと思います。



マイナピット



東山洋昭

少子化社会における 小中学校について

質問

現在の児童生徒数と今後の見込みは。

答弁

今年5月1日現在、小学校児童は641人、中学校生徒は380人ですが、小学校児童は令和13年には448人、中学校生徒は令和19年には204人に減少する見込みです。

質問

中高一貫校の実現の可能性は。また、上野原中学校だけが対象か。

答弁

多くの課題があるが、実現に向けて検討しています。なお、今後の生徒数の推移からも市内全中学校を対象と考えています。

質問

児童生徒数の減少、学校施設の老朽化、上野原高校の生徒数の減少など多くの課題はあるが、小中学校の今後の在り方について、真剣に検討すべき時期が来ているのではないかと思うが。

答弁

現状の年度別出生数、学年別の児童生徒数や学校施設

意見

の老朽化を鑑みると、真摯に検討していかなければならない課題として捉えています。

子どもの教育については、人口減少や少子化とも大いに関係があります。教育に関する方向性や環境が整っていない所に、若い世代、子育て中の世代、そしてこれから子育てをしようという世代の皆さんが住み続けてくれるでしょうか。5年先は勿論ですが、その先を見据えた小中学校、教育の在り方について、積極的に検討されることを望みます。



安留俊介

不登校の子どもと親に支援を



川田好博

質問

全国的に2010年代以降不登校児童生徒の率が急速に増えているが。

答弁

大変苦慮すべき状況と認識しています。

質問

学校5日制になったにもかかわらず、2017年の学習指導要領改訂で、標準授業時数が増え、授業が過密になったと思うが。

答弁

1日あたりの授業時数は増加しました。

質問

文部科学省では、ICTを活用すれば、子どもの心身の変化を早期に発見できるとしているが、教員が一人ひとりの子どもと向き合うことができる時間と余裕の確保が重要と考えるが。

答弁

文部科学省も働き方改革で「教師が子供に接する時間を確保します」とあり、教師が子どもと向き合うことができる時間と余裕の確保は重要と考えています。

質問

不登校傾向にある中学生を

意見

対象にした「学校に行きたくない理由」の第1位、第2位は、「疲れる」「朝、起きられない」だ。最も重要なことは、子どもを癒やすことではないか。
担当課としても確認しています。子どもたちが安心して居場所を作ることが大切だと認識しています。
他の国と比べて、日本の子どもの自己肯定感が低い。この改善が必要と思うが。
学校での満足感が自己肯定感のためには重要であると示唆されているので、方策を考えていきたい。
保護者の不安を取り除くため、交流などの支援を。

答弁

学校での満足感が自己肯定感のためには重要であると示唆されているので、方策を考えていきたい。



質問

市長は4月に香川県にて開催された、第20回桃太郎サミット高松大会に参加をされ、次回は上野原市で開催をすると宣言しておりますが、開催時期は。

答弁

これまで市内の様々な団体が桃太郎伝説による地域活性化への活動を行い、現在は、上野原桃太郎まちづくり連絡協議会を組織し取り組んでおります。去る4月5、6日に桃太郎サミット高松大会が開催され、次回開催地の市長として出席し、大月市と上野原市の共催で、来年又は再来年には開催する旨を宣言させていただきました。次次回開催地として法被を引き継ぎ袖を通してまいりました。今後開催に向け協議会を中心に準備が進むものと認識しています。

質問

桃太郎生誕の地、上野原を内外に浸透させ、サミット開催に向け盛り上げを図

桃太郎伝説による活性化策について サミットの開催時期と準備は



杉本公文

答弁

る為、看板の設置や桃太郎の生家を整備する考えは。
看板の設置については、地域の皆様への桃太郎伝説の周知と理解を深め、サミット開催、また、機運を高める上で有効な手段と認識し、設置を進めるには地元島田地区の皆様を始め関係団体、そして桃太郎協議会が桃太郎伝説で上野原を盛り上げていくという熱意や思いを共有されて、開催に向け意思統一を図ることが重要と考えております。生家についても同様です。
他に、防災対策、地区防災計画の策定推進等について質問しました。



総務産業常任委員会

委員長 山口 薫
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤澄男
八木一雄
東山洋昭
杉本公文
長田喜巳夫

5月19日、閉会中の調査として群馬県下仁田町へ伺い、「ジオパーク」の認定に向けた留意点等について視察を行いました。

同町では小学校の廃校を「自然史館」として活用し、ジオパーク推進の拠点としています。認定に向けた活動は、「ジオパーク下仁田協議会」を設置し、2011年に認定を受けたとのことです。

その後、富岡製糸場とともに世界遺産登録となった荒船風穴や宿場町、歴史と文化と豊富な物産、地層の珍しさや町の食文化も含め、そうした魅力を丸ごとジオパークとして活用しているとのこと。

委員から地元ガイドについての質問では、ガイド講座ではなく、お客さんと最初に接する商工会の方々を対象に町内の清掃活動等をする中で、情報提供を

行っているとのこと。ジオパークは、認定後も4年ごとの再認定があり、前回や前々回審査時の課題に対する改善が求められるとのことでした。

ジオパークは、地域活性化とその地域にもたらす経済的効果の向上に、非常に重要な意味を持つこと、一方でその地域ごとに存在する認定へのプロセスと課題が異なることがわかりました。



下仁田町にて

文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一
副委員長 安留俊介
委員 清水一明
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子
川田好博

閉会中の継続調査として、「ごみ袋の有料化について」、5月15日に甲府市環境センターへ出向き視察調査を実施し、併せて甲府峡東フリースセンターと一般廃棄物最終処分場の視察を行いました。

甲府市では、市民の協力を得て一定のごみ減量化が見られたことなどから、処理費の一部負担を上乗せする有料化ではなく、指定ごみ袋の導入について検討すべきとの答申を受け、平成21年10月1日から指定ごみ袋制度を開始したとのこと。分別種類は、燃えるごみ袋と燃えないごみ袋の各大・中・小、袋に入らない粗大ごみ用の処理券の7種類とのことでした。

甲府・峡東フリースセンターでは、将来のことを考慮し、施設に隣接した場所に同じ焼却施設が建設できる広さの多目的広

場が確保されていました。

一般廃棄物最終処分場「かいのくにエコパーク」は、全国でもめずらしい県内全域の焼却灰など広域的に受け入れる最終処分場とのことでした。

今回の視察においてごみの分別がごみの減量化につながることから、当市においても分別を徹底し、分別の意識を高めることが求められます。さらに、分別したごみをどのように処理しリサイクルにどう結び付けるのか検討し、ごみの減量化に視点を当てた指定ごみ袋の導入に取り組むことを当局に要望しました。



甲府・峡東
フリースセンター

議会活性化特別委員会

委員長 長田喜巳夫
副委員長 小俣 崇

令和6年9月定例会で設置された特別委員会は、3つの分科会を設置し、各分科会に割り振られた検討項目について、調査・研究を行っています。

当初の検討項目は、次の通りです。

第1分科会

- ①意見交換会の開催について
- ②政策立案及び政策提言について

第2分科会

- ①政務活動費について
- ②討論交互の原則の見直しについて

第3分科会

- ①一般質問の持ち時間の見直し及び会派による代表質問の在り方について
- ②議員選出の監査委員の在り方について
- ③申し合わせ事項の明文化について

2月には「予算・決算特別委員会における総括質疑のあり方について」を各分科会の項目に追加することにしました。現在までの検討結果は次のとおりです。

意見交換会については、議会だより編集常任委員会を改組し、広報公聴常任委員会を設置し、詳細な内容を検討することになりました。政務活動費については、議会活動を活発にするものであるが、導入する時期については更に検討していくことにしました。一般質問の持ち時間の見直しについては、6月定例会から答弁時間を含めず議員の持ち時間を25分とすることにしました。他の項目については、今後も調査研究・議論を重ねていきます。

表彰

全国市議会議長会表彰

在職10年



川田好博議員

一口メモ

骨格予算って

首長選挙など控えた自治体が、最低限必要な予算を盛り込んで編成する予算のことです。選挙後の補正予算で、政策を反映させた経費を計上することになります。

上野原市では、2月に市長選挙があり、3月定例会では、骨格予算が提案されました。6月定例会で新しい政策が反映された補正予算が提案されました。

市民の声

緑綬褒章（団体は褒状）受章

令和7年春の褒章に県内から1団体と7人が選ばれました。
5月20日の伝達式は、国土交通省（霞が関）で行われ、社会奉仕活動に功績があった人に贈られる緑綬褒章（団体の場合は褒状）は全国で2名・8団体です。
式はおおよそ30分で済み、午後から皇居正殿での拝謁、受章者代表のお礼の言葉、天皇陛下より感謝のお言葉がありました。その後、正殿波の間南溜で記念撮影をして長い一日が無事終わりました。
今回の受章には、平成12年に会の立ち上げから現在まで、諸先輩方の30年近くに及ぶコモア内や四方津駅周辺の美化活動が認められたものであり、改めて日々の活動の積み重ねが大事であることを思い知らされました。
今回の受章にあたり村上信行市長、長崎幸太郎知事、他多数の方々より祝電を戴きました。ありがとうございます。
コモアシニアクラブ街をきれいにする会



受章された街をきれいにする会のみなさん

9月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
		本会議 (初日) 傍聴可	議案調査	議案調査	委員会 予算特別	
7	8	9	10	11	12	13
	委員会 総務産業 文教厚生	議案調査	委員会 決算特別	議案調査	委員会 決算特別	
14	15	16	17	18	19	20
	敬老の日	委員会 決算特別	議案調査	本会議 一般質問 傍聴可	本会議 一般質問 傍聴可	
21	22	23	24	25	26	27
	本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	秋分の日	議案調査	本会議 (最終日) 傍聴可		

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。
委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。
ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局（62-3344）へお申し込みください。

編集後記

西日本では平年より早く梅雨明け宣言が出されましたが、関東甲信越地方は遅れています。雷雲がかかる時が多いからだそうです。しかし、猛暑日が続く、体調の管理も難しくなっています。室内でも熱中症になる恐れがあると、消防署からも注意が喚起されています。
暑い夏で思い出されるのが、80年前です。それまでの戦争の時代が終わり、新しい日本の時代が始まりました。8月は歴史を振り返る月でもあります。

(川田好博)

YouTube
QRコードです



議会だよりの
QRコードです



議会だより編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 遠藤美智子 |
| 副委員長 | 川田 好博 |
| 委員 | 清水 一明 |
| 委員 | 小俣 崇 |
| 委員 | 白鳥 純雄 |
| 委員 | 東山 洋昭 |
| 委員 | 杉本 公文 |